



西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

始業式を行いました

4月9日(月)に始業式を行いました。始業式までに「離任式」と「着任式」を行い、本校を去られた先生方にお別れをした後、逆に本校に来られた先生方の紹介をしました。その後はいよいよ担任の発表です。2、3年生全員の視線が発表する私に向けられました。これだけ真剣で集中した視線を送ってくれるのは、1年を通じてもこのときくらいです。担任を発表したときには、うれしそうな声を上げたり、歓声が上がったり、拍手が起こったり、様々なリアクションが見られました。新2年生は控えめな、新3年生は元気な反応だったと思います。この1年間、一緒に学校生活を送っていく先生と仲間が決まりました。一人ひとり個性があり、考え方が違います。けんかをしたり人間関係がうまくいかないときもあるとは思いますが、それも卒業の時に振り返れば「いい思い出」となると思います。さあ、この1年の素晴らしいスタートを切りましょう。

～ 始業式 式辞からの抜粋 ～

さて、今日から1学期が始まりました。1学期の始まりに際して2つのこととお話します。

1つめは、夢や目標を持ってください。

当たり前のことですが、1年生は2年生に、2年生は3年生に一つずつ進級しました。4月はすべての環境が新しくなります。3月までお世話になった先生方とお別れをし、新たにお世話になる先生方の紹介がありました。また、新しいクラス、担任の先生の紹介もあり、期待と不安が心の中で大きくなっているのではないのでしょうか。初めてのことは誰にでも不安はあると思います。しかし逆に考えると、新たな環境になるということはチャンスだと思います。1年の始まりの元旦同様4月は、自分を変える、また、新たな目標を立てて頑張るチャンスだと思います。前の学年でできていなかったことをよく考え、この学年ではこんなことを頑張るぞと決めてください。例えば「家で毎日2時間は勉強をするぞ」「部活動は休まず頑張る、総体で優勝するぞ」などです。私の知る限り、素晴らしい成果を残している人たちはしっかりと夢や目標を持っています。たとえ手に届きそうにない夢も日々努力を続けている内に夢が目標に変わり、それが現実のものとなります。是非、目標を持って日々その達成に向けて努力してください。卒業式の式辞の中で、女優の有村架純さんから、七十周年記念式典に寄せられたメッセージを読みました。もう一度紹介します。「夢が叶う、

叶わないではなく、そのために自分が何をしていたか、がとても大切なんじゃないかなと思います。どれだけやれたか、どれだけ思いをかけられたか、それは必ず、自分の強さに変わります。小さな目標でも、いいと思います。目標を持つことが、夢へ進む一歩だと私は思っています。

2つめは、すべてのことに対して活力をもって、最高のレベルで取り組んでほしいということです。

西中の伝統として、挨拶、校歌、体育大会の行進や演技、文化祭での合唱等などがしっかりとできるということがあります。卒業した3年生はまさにこの伝統を引き継ぎ、「おまえらも頑張れよ」と皆さんに見本を見せて卒業していったように思います。この伝統は、本当に地域や他校に誇れるものだと思いますし、これからもずっと受け継いでほしいと思っています。ただ、これらの伝統において、今年からはすべての面で市内一という高いレベルを目指してほしいと思います。連体や交歓音楽会等、他校と比較できる行事がいくつかあります。それらの行事で「西中が一番よかったな」と言われるようにしてほしいものです。また、挨拶もある程度できていますが、相手の目を見て、立ち止まって、相手からではなく自分からできるように、高いレベルの挨拶を極めてほしいものです。これから高校の先生方がたくさん西中を訪問されます。挨拶がよければ、「西中の生徒を是非うちの高校にほしい」と思っていただけだと思います。たいへん印象が良くなると思います。

さらに、いつも私が言っている、「学習規律5箇条」やスリッパをはじめ「すべての物をそろえる」等も、一人ひとりの自覚と引き続き各種委員会の取り組みで徹底してほしいものです。いつ外部からの人を招いても、授業を見てもらっても恥ずかしくない態度で臨んでおいてください。よろしくお願いします。

1学期、3年生は修学旅行、部活動の総体、2年生はトライやる・ウィーク等の大きな行事があります。行事をはじめ授業や部活動に活力をもって臨む「燃える生徒」でいてください。以上をもちまして私の1学期の始まりに際しての話とします。頑張ってください。

以上



